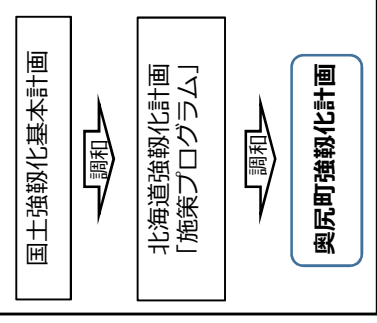


奥尻町強靱化計画概要

奥尻町強靱化の背景・必要性

- ①北海道南西沖地震・東日本大震災の教訓を生かし、町内外の大規模自然災害に備える。
- ②奥尻町としても、人口減少社会の到来、急速な高齢化の進行、公共施設等の老朽化、防災力の強化といった課題を抱える中、国土強靱化基本計画、北海道強靱化計画と調和した「奥尻町強靱化計画」を策定する。
- ⇒国は国土強靱化基本法を制定し、それに基づく国土強靱化基本計画を策定、奥尻町強靱化計画は、この地域計画として位置づけられる。
- ③北海道についても、国土強靱化基本計画を受け、地震や豪雨・豪雪などの自然災害リスクに対する取組を進め、北海道の強靱化を図るための「北海道強靱化計画」を策定済み



国土強靱化とは

大規模自然災害の備えとして、災害により致命的な被害を負わない「強さ」と、速やかに回復する「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築を推進するもの

基本目標

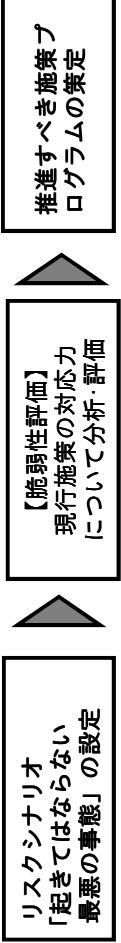
- (1) 人命の保護が最大限図られること
- (2) 町及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること
- (3) 町民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
- (4) 迅速な復旧復興

奥尻町強靱化計画の目標

- (1) 人命の保護が最大限図られること
- (2) 町及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること
- (3) 町民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
- (4) 迅速な復旧復興

奥尻町強靱化計画に係る施策プログラムを設定

- (1) 次のプロセスにより施策プログラムを設定



【リスクシナリオ【7つのカテゴリと200のリスクシナリオ】の設定
 ・国の基本計画や北海道強靱化計画で設定されている「事前に備えるべき目標」、及び「起きてはならない最悪の事態」と整合性を図るとともに、道並びに檜山管内各町と一体的な取組ができるリスクシナリオを設定

事前に備えるべき目標(カテゴリ)	起きてはならない最悪の事態(リスクシナリオ)
1 人命の保護	1-1 地震等による建築物の大規模倒壊や火災に伴う死傷者の発生 1-2 土砂災害による多数の死傷者の発生 1-3 大規模津波等による多数の死傷者の発生 1-4 異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の浸水 1-5 暴風雪及び豪雪による交通途絶等に伴う死傷者の発生 1-6 積雪寒冷を想定した避難体制等の未整備による被害の拡大 1-7 情報伝達の不備・途絶等による死傷者の拡大
2 救助・救急活動等の迅速な実施	2-1 被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止 2-2 消防、警察、自衛隊等の被災等による救助・救急活動の停滞 2-3 被災地における医療・福祉機能の麻痺
3 行政機能の確保	3-1 町内外における行政機能の大幅な低下 4-1 エネルギー供給の停止
4 ライフラインの確保	4-2 食料の安定供給の停滞 4-3 上下水道等の長期間にわたる機能停止 4-4 町外との基幹交通及び地域交通ネットワークの機能停止
5 経済活動の機能維持	5-1 サプライチェーンの寸断や中核機能の麻痺等による企業活動等の停滞 5-2 町内外における物流機能等の大幅な低下
6 二次災害の抑制	6-1 農地・森林等の荒廃による被害の拡大 7-1 災害廃棄物の処理の停滞等による復旧・復興の大幅な遅れ
7 迅速な復旧・復興等	7-2 復旧・復興等を担う人材の絶対的不足

(2) 推進事業

- ・脆弱性評価の結果を踏まえて、施策及び推進事業を設定（ソフト・ハード両面）
- ・奥尻町発展基本計画と整合性を図れた施策及び推進事業を設定
- ・個別の施策毎の進捗状況や目標の達成状況を検証し、効果的な施策の推進を図る。

計画期間

・計画期間 5年間（2018年～2023年）

地域防災計画との役割分担

